

【報告】神戸フィッシャリーナ施設運営等事業について

1. 趣旨

漁港内にプレジャーボートの係留場所を確保することにより、漁港施設の適正な維持管理を図り、漁業の振興と海洋レクリエーション普及に寄与するため、平成13年にPFIを導入し「神戸フィッシャリーナ」を設置しています。

これまで民間事業者によって、利便性の高い施設が効率的かつ効果的に整備されるとともに、低廉で質の高いサービスが提供され、魅力ある施設として多くの方に利用されています。

令和3年度末をもって事業期間が終了しますが、現在係留中のプレジャーボートを収容できる施設が近隣になく、引き続き漁港施設の適正な維持管理を図るため、PFI事業を実施します。

2. 事業概要

(1) 事業対象施設

- ①所在地：神戸市垂水区海岸通12番地の一部及び地先
- ②対象面積：9,293 m²
- ③収容能力：142隻（ビジター用含む）
- ④係留隻数：136隻（令和3年5月末現在）



(2) 事業条件

- ①事業方式：P F I 事業（R O方式）
- ②事業期間：令和4年4月1日から20年間
- ③施設管理料：市は、事業者に対し、使用料収入の範囲内で支払います。

(3) 公募・選定方法

公募型プロポーザル方式によりP F I事業者（優先交渉権者）を選定します。

(4) 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年7月 実施方針の公表
- 8月 特定事業の選定
- 9～11月 公募実施
- 12月 事業者（優先交渉権者）選定

《参考》

1. 現行事業の概要

- (1) 事業方式：P F I 事業（B O O方式）
- (2) 事業期間：平成13年10月1日～令和4年3月31日（約20年間）
- (3) 施設管理料：市は、事業者に対し、使用料収入の範囲内で支払います。
- (4) P F I 事業者：ヤマハ発動機株式会社

2. P F I用語

(1) P F I (Private Finance Initiative) :

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

(2) R O方式(Rehabilitate Operate) :

事業者が自ら資金を調達し、既存の施設を改修・補修し、管理・運営を行う方式

(3) B O O方式(Build Own Operate) :

事業者が施設を建設し、維持管理及び運営をするが、公共への所有権移転は行わない方式